

第2回 横浜市磯子区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会会議録

日 時	平成 27 年 4 月 17 日（金） 14 時 30 分～18 時 00 分		
開催場所	磯子区役所 4 階研究室		
出席者	<選定委員> 影山摩子弥委員長、安宅瑞代委員、三浦武委員、遠藤洋子委員、蟹澤多美江委員、渡部近司委員、佐野弘委員 <事務局> 平田大登福祉保健センター長、金子裕担当部長、瀧澤朋之高齢・障害支援課長、花園勝福祉保健課長、齋藤亜希運営企画係長、小堀篤史職員		
欠席者	無し		
開催形態	公開（傍聴人 0 人）		
決定事項	以下の法人を指定管理者の指定候補者として選定し、磯子区長に報告する。		
	ケアプラザ名	指定候補者	評価得点／満点（最低基準）
	新杉田	社会福祉法人 電機神奈川福祉センター	1,088 点／1,400 点（840 点）
	洋光台	社会福祉法人 横浜長寿会	1,048 点／1,400 点（840 点）
	上笹下	社会福祉法人 ふるさと自然村	974 点／1,365 点（819 点）
議 事	1 開会 (1) 委員出席数 7 名（委員会成立を確認） (2) 資料確認 2 開会あいさつ 福祉保健センター長 3 審査方法の説明 【事務局より説明】 ・各地域ケアプラザの応募状況は、1 施設につき 1 法人の応募で、7 施設全て現在の運営法人のみの応募。 ・次第のとおり、磯子区内 7 施設のうち、後期グループとして新杉田・洋光台・上笹下地域ケアプラザの 3 施設の面接審査を実施。 ・応募法人のプレゼンテーション・審査は、各法人プレゼンテーション 20 分、質疑応答 15 分、結果記入 10 分、計 45 分を予定。 ・事前に配付済の「地域ケアプラザ指定管理者選定評価基準項目及び採点表」に基づき、地域ケアプラザごとに各項目について 5 段階で記入し、係数を掛けて評点を算出。本日のヒアリング等の結果により、評点（5 段階評価）を変更することができる旨を説明。 4 議題 各地域ケアプラザ応募関係書類について ・役員名簿による暴力団関係者の有無、市税滞納の有無について、いずれも応募法人に該当なし。 ・横浜市健康福祉局で実施した外部委託による応募法人の財務状況について、「A：		

特に問題はない。」「B：経営上の課題はあるが、当面は問題ない。」「C：経営上重大な課題がある。」の3段階評価で、後期グループの3法人すべてA評価であり、特に問題のある応募法人はなし。

5 応募法人プレゼンテーション、質疑応答

(1) 新杉田地域ケアプラザ（応募法人：社会福祉法人 電機神奈川福祉センター）

ア 応募法人プレゼンテーション

申請書類及びパワーポイントにより説明した。

イ 質疑応答

委員：申請書類に「物品はなるべく地域の商店街で購入する」と記載があるが、ネットで購入した方が安く購入できると思われる。その点について考えをお聞かせいただきたい。

応募法人：購入する物によるが、新杉田地域ケアプラザの設置場所は杉田商店街があり、そこと連携する仕組みづくりを図るためです。

委員：グッドジョブ賞を設けることで組織求心力が上がり、自治会への加入を呼びかければ自治会へ参加が増えるかもしれないが、その効果を検証しているか。効果がないことを続けても経費が無駄になるかもしれない。

応募法人：県内に複数の事業所があり、それぞれ顔の見えない関係にあったが、グッドジョブ賞を設けたことで、いい部分を見つけ褒め合うという職場の雰囲気ができました。

委員：利用者からの要望や苦情が出ると思うが、その対応の仕方をお聞かせいただきたい。

応募法人：利用者へのアンケートから要望などを吸い上げており、受付の職員が随時聞き取れる体制を整えています。

委員：要望を受ける箱は設置しているのか。

応募法人：3階エレベーターホールに設置しています。

委員：職員や地域との交流によってスキニシップを行っていると同ったが、動物やロボットを活用した交流やスキニシップは行っているか。

応募法人：癒しを目的とするロボットの導入は検討していません。動物についても衛生面等の課題があり導入していません。

委員：定年退職前の事前の啓蒙が必要と思われる。その点について考えをお聞かせいただきたい。

応募法人：定年退職を迎え、かつ、65歳前の方の孤立死や一人暮らしで倒れていたという事案が続いたため、定年退職前の方々への啓蒙が大切であると考え、地域包括会議にて提案を行いました。

委員：貴法人の母体は「電機連合」となっており、社会福祉法人としては特殊に見える。貴事業所としては、どこに自らの売りがあり、どこに自らの改善点があると考えているかをお聞かせいただきたい。

応募法人：売りとしては、開設当初から地域との連携を大切にすることを念頭に

置いている。課題としては、3年ごとに介護報酬が改定されており、運営が厳しい。

委員：医療と介護の連携とは、具体的にどのようにしていきたいと考えているかお聞かせいただきたい。

応募法人：状態が重い方が社会に放出される時代となった。4月1日から看護師職の職員をデイサービスの現場に配置しました。また、地域包括支援センターの主任ケアマネジャーも看護師を配置しています。

委員：人材育成としてキャリアパス制度を導入されているが、それについては手応えを感じているか。

応募法人：上席者が職員に期待すること、職員がやりたいことの話合いを密に行うことができ、目的がはっきりします。

委員：申請書類に、常勤以外の職員でも勤続5年や8年といった記載があったが、この部分に人材育成に力をかけていることが表れているのか。

応募法人：福祉の業界は勤続3年程度であることが多い。勤続年数が長い職員がいるのは、職員にとって働きやすい職場環境を作ったためと考えています。

<審査>

合計：1,400点中 1,088点

平均：155.4点/200点（委員7人の平均点）

最低基準：120点

応募者が1団体であり、集計の結果、最低基準を満たしているため、社会福祉法人 電機神奈川福祉センターを指定候補者として選定することとした。

(2) 洋光台地域ケアプラザ（応募法人：社会福祉法人 横浜長寿会）

ア 応募法人プレゼンテーション

申請書類により説明した。

イ 質疑応答

委員：職員の資質の向上とは具体的にどのような方法で行われているのかお聞かせいただきたい。

応募法人：定期的に社内運営会議を行い、処遇内容を検討しています。また、職員への研修も実施しています。

委員：職員の勤続年数はどの程度かお聞かせいただきたい。

応募法人：平均5～6年、長い方で10年程度の勤続者がいます。

委員：要望や苦情があった場合、どのような形でお返ししているかお聞かせいただきたい。

応募法人：事業ごとに毎年利用者アンケートを実施しています。その内容は公けにはしていませんが、事業ごとに検討会議を開き、対応方法を検討し、ケアプラザ内で共有しています。

また、事業ごとに直接お受けした内容についても、同様に検討し、各事業に反映しています。

委員：業務が多くとても忙しいと思うが、職員の勤務時間や配置のフォローはどのように行っているかお聞かせいただきたい。

応募法人：ローテーションを工夫するとともに、広く多くの職員に情報共有し、多くの職員が対応できるようにすることで、特定の部門及び特定の職員に集中しないようにしています。

委員：平成 28 年度予算計画において、収支がマイナスとなっているが運営に支障はないのか。

応募法人：洋光台地域ケアプラザは利用者が多く、人件費の割合が高くなっています。しかし、法人全体で見た場合、黒字の事業もある。内容を重視して運営することを理念として行っています。

委員：洋光台地区は高齢化が進んでいる地区だと思います。また、今後さらに高齢化が進んでいく中で、シニア対策をどのようにお考えかお聞かせいただきたい。

応募法人：高齢者が多くなると、高齢者を支援する担い手が必要になってきます。そのため、担い手を養成していく組織を作っていかなければならないと思っており、ボランティア連絡会を中心に多くの担い手を発掘していきたいと考えています。また、シニアの方でも担い手になり得ると考えています。

さらに、元気づくりステーションやサロンの実施も行っています。

委員：今後、健康体操をどの程度広めていくかお聞かせいただきたい。

応募法人：横浜市で作られた体操であるが、この体操をすることで健康づくりや介護予防に取り組んでいただきたいという思いがあります。まずは、体操の一つ一つの動きには理由があることをしっかりと伝える必要があると考えています。

< 審査 >

合計：1,400 点中 1,048 点

平均：149.7 点 / 200 点（委員 7 人の平均点）

最低基準：120 点

応募者が 1 団体であり、集計の結果、最低基準を満たしているため、社会福祉法人 横浜長寿会を指定候補者として選定することとした。

(3) 上笹下地域ケアプラザ（応募法人：社会福祉法人 ふるさと自然村）

ア 応募法人プレゼンテーション

申請書類及びパワーポイントにより説明した。

イ 質疑応答

委員：法人本部がある高知県と横浜で人事交流はあるのか。また、職員の定着率をお聞かせいただきたい。

応募法人：人事交流は頻繁に行っています。ケアマネジャー、看護師及び特別養護老人ホームの施設長といった者が交流しています。

職員の定着については、今、数名の退職者が出ています。

委員：上笹下地域ケアプラザの位置は、バスを利用しないと行かない場所にあるが、利用者になるべく便利に利用できる手段を考えているかお聞かせいただきたい。

応募法人：ご質問のとおり、磯子区と金沢区の境界に位置しており、バスの利用が必須です。そのため、相談などがあった場合、まずはケアプラザの職員がご訪問させていただくという対応を行います。また、来所してご相談したいといったことであれば、地域の方のご協力をいただきながら対応を行っています。

委員：上笹下地域の特徴をお聞かせいただきたい。

応募法人：上笹下地域は南北に広く、人口が減少傾向にあります。また、上中里や氷取沢は高齢化も進んでいます。その一方で、田中や栗木は人口が増加傾向にあります。そのため、高齢者のみならず、子育て関連の事業も進めてきています。これからも地域のニーズを合わせた事業展開を行っていきたいと考えています。

委員：上笹下地域ケアプラザの事業展開は具体的にどのように考えているか。また、ボランティア活動は実施されているかお聞かせいただきたい。

応募法人：前述のとおり、高齢者のみならず、サロン事業、子育て支援、区内障害団体と連携した障害支援を大きな柱として事業展開を行っていきたいと考えています。また、ボランティア活動に関しては、磯子区社会福祉協議会と連携したボランティア育成事業を行っています。

委員：健康寿命を延ばすということについて、地域活動の中でどのように展開していかれるかお聞かせいただきたい。

応募法人：健康づくりに関しては、健康づくり教室や元気づくりステーションなど、地域の中で主体となるものを作り上げていくことが大切であり、その先導をするのが地域ケアプラザだと考えています。

<審査>

合計：1,365 点中 974 点

平均：139.1 点／195 点（委員 7 人の平均点）

最低基準：117 点

応募者が 1 団体であり、集計の結果、最低基準を満たしているため、社会福祉法人 ふるさと自然村を指定候補者として選定することとした。

(4) 審査講評

ア 新杉田地域ケアプラザ（応募法人：社会福祉法人 電機神奈川福祉センター）
地域と連携し、地に足をつけて活動を行っていることは非常に評価できる。人材育成では、一人ひとりの目標設定シートを活用し、面談・評価するシステムは評価するが、今後は評価制度を検証し、更なる職員のモチベーションの向上につ

	<p>なげていただきたい。</p> <p>イ 洋光台地域ケアプラザ（応募法人：社会福祉法人 横浜長寿会） 全体としては良いが、プレゼンテーションから推測すると、日常業務において、相手に合わせて伝えられているか少し不安に思う。ケアプラザには様々な利用者がいらっしやるので、相手に合わせた伝え方は重要と考える。</p> <p>ウ 上笹下地域ケアプラザ（応募法人：社会福祉法人 ふるさと自然村） 法人の拠点が高知県だが、横浜との違いを理解しながら取り組み、地域へのサービス提供の定着からも職員の定着方法を検討していただきたい。小さな甘さが事故につながるため、資料は両面印刷を励行し「環境への配慮」についてもしっかり取り組み、気を引き締めていただきたい。</p> <p>6 今後のスケジュール 委員会の会議録（議事録）は事務局にて作成し、委員長に内容を確認することで承認。 選定結果を磯子区長に報告し、応募法人に通知・公表する。 健康福祉局長に報告するとともに、平成 27 年第 3 回市会定例会に指定議案を上程し、正式に指定管理者の指定となる。</p> <p>7 閉会あいさつ 福祉保健センター担当部長</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 指定管理者応募関係書類</p> <p>2 第 2 回「横浜市磯子区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会（後期グループ）」次第</p> <p>3 地域ケアプラザ指定管理者選定評価基準項目及び採点表</p> <p>4 第 2 回磯子区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会タイムスケジュール</p> <p>5 応募法人の財務分析結果報告書</p> <p>6 応募法人出席者名簿</p> <p>7 横浜市磯子区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱</p> <p>8 横浜市磯子区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱</p>